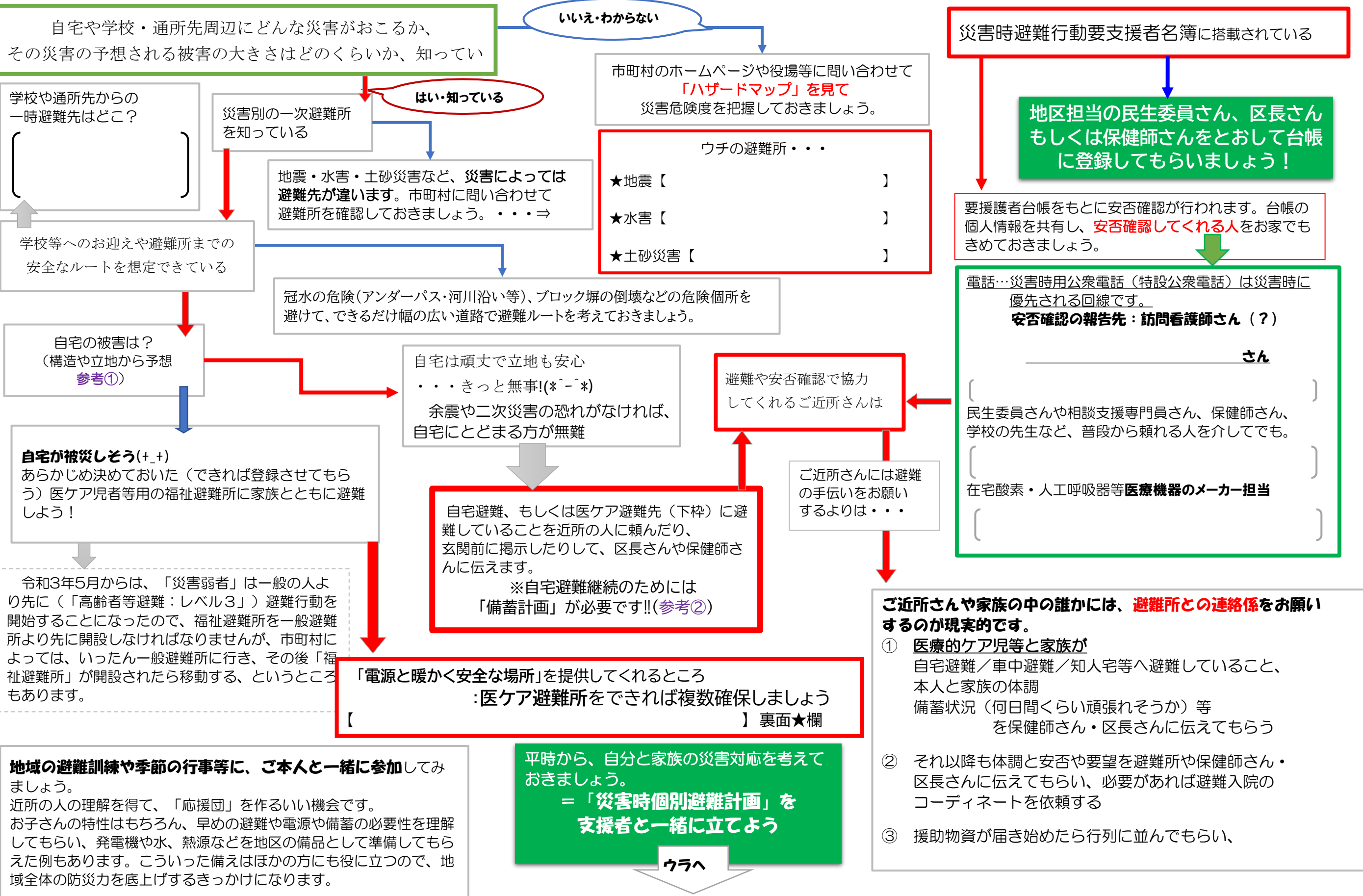




家族と一緒に考え、つくる
「その時」が来る前にできること
防災・避難計画

長野県医療的ケア
児等支援センター
いきあう



備蓄 お家に(家族全員分)

お薬手帳も身近に！

□食料（栄養剤） □飲料水

□手指消毒用エタノール

□医療的ケア用精製水

□保温用のカイロ □体温計

□乾電池

□おむつ

□ほか（ ）

★備蓄は学校や通所先にも

人工呼吸器の加温加湿器は消費電力が大きいので使えなくなることも。

電源の確保

・人工呼吸器

・人工呼吸器の加温加湿器

・吸引器

・酸素濃縮器

・エアマット

車のシガーライターケーブル

発電機（設置は屋外。カセットガスタイプのは外気温4℃以下では使えない。ガソリンやLPガスのものもある）

蓄電池（発電機との併用で効果大。室内で使える）

PHV、PVIは頼れる「走る蓄電池」

近所の給電車ユーザー等にいざという時の協力をお願いしておいてもよいでしょう。

かかりつけ薬局は？

災害備蓄についてかかりつけ薬局と相談してみよう

{ }

電源の必要な機器を使っていますか？

人工呼吸器使用の方は、人工呼吸器の交換用バッテリー、手動式／乾電池式吸引器、人工鼻、酸素ポンペ、 アンビュバッグも 忘れずに！

ロール式の延長コードも準備しておきましょう

人工呼吸器等医療機器に 直接つなぐよりバッテリーの充電や保温等に使用の方が安全です。給電車は医療機器直接接続も可。

発災時にけがをしない環境整備

○ベッド周り 医療機器・介護グッズの転倒・落下を防ぐ
（ゲル状の耐震マットの使用、ベッド柵よりも下に配置する…など）

○窓ガラス 飛散防止シートを張る ○家具の転倒防止、不要なものを置かない…など

■発災時、けがをしても[とりあえず病院へ]はだめ！ 救急車にもできるだけ頼らないように。

なぜなら・・・ 自宅を離れると、処置に必要な物品はない。／ 道路や交通網は混乱し、救急車も動かない。 ／

どこの医療機関も怪我人・病人であふれている。／重症な場合は自宅で処置した後、自家用車で病院へ。

★電源・安全確保のための緊急避難先を確保しよう

感染対策のためにも、自治体や圏域の医療的ケア児等コーディネーターと相談して、電源の確保をできる安全・清潔な場所を確保しましょう。

{ }

※ この災害対策自助プランシートは「災害時個別支援計画」として、市町村担当者と共有することが可能です。

医療・生活情報のまとめ			氏名		情報の取り扱いについて:この情報を、災害時の救命と支援のために、消防、区長、民生委員等の関係者のほか、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、かかりつけ医、かかりつけ薬局、通所先、学校、その他()に共有することを承諾します。						
生年月日			性別	男	女	血液型	本人もしくは保護者 署名				
住所						身長		体重		脈拍	回/分
診断名						血圧		普段の体温	℃	暑がり	寒がり
合併症						ご家族の日中の連絡先					
主治医	専門医	医療機関名 医師名 電話（ ）				保護者					
	かかりつけ医	医療機関名 医師名 電話（ ）				きょうだい	通学・通園先、学年など				
訪問看護						特記事項					
かかりつけ薬局											
人工呼吸器	機種名				酸素使用：あり（ ）ℓ/分	なし					
	使用は	夜間のみ		24時間	その他（ ）						
	設定は	呼吸回数（ ）回/分		PEEP（ ）							
気管切開	喉頭気管分離 □している □いない		カニューレの種類								
吸引	気管内吸引	チューブの太さ（ ）fr				挿入の深さ（ ）cm程度					
	□鼻腔吸引										
食事	経口摂取は	できる（全介助 / じぶんで）			一部経口摂取		できない				
	胃ろう	製品名		サイズ							
	経鼻口チューブ	製品名		サイズ							
	経管栄養：平時は □半固形食短時間接種法 □半固形化栄養剤 □栄養剤滴下注入										
災害時変更 □可／□半固形食短時間接種法 □半固形化栄養剤 □栄養剤滴下注入											
アレルギー											
てんかん	緊急対応の必要な発作が・・・ □ ある □ ない										
排せつ	□自力でできる □おむつ使用 □ストマ □膀胱瘻 □自己導尿(□自立・自律している □ケアしてもらう)										
その他医療的ケア											